



地域のイベント 大高祭に行ってきました

プロ野球の千葉ロッテマリーンズで大活躍している佐々木朗希投手の出身校であり、ベースのスタッフの母校でもある大船渡高校の文化祭(大高祭)を見学してきました。



被災地に咲く花 ~葛の花~

秋の七草のひとつ、『葛の花』が目につくようになりました。藤の花を逆にしたような赤紫色の花からは、ブドウに似た甘い香りがします。



草刈りにはとても厄介な植物ですが、葉は家畜の肥料として使われ、マメ科で栄養価が高い為、『ウマのおこわ』や『ウマのぼたもち』という別名で呼ばれているのだそうです。

活動紹介 被災地見学・東京カトリック神学院

神父様と神学生さん各3名にご来訪いただきました。

到着の翌日、朝7時から大船渡教会でミサを捧げて下さり、ベースでのスタッフとの交流では、震災以前の町並みと、震災直後の避難状況から推測される町づくりの問題点や、それぞれの出身地での防災への取り組みの様子、災害に強い町づくりなどについて話し合いました。



旧八軒街跡地で、東日本大震災の津波とチリ地震津波の大きさを比較した後、移動中の車窓から大船渡町内を見学して加茂神社に上り、高台から復興の様子を見学しました。

地域のイベント 防潮堤に不思議アートが出現

東日本大震災後、大船渡湾沿いに建設された高さ7メートルのコンクリートの壁。災害から人々を守る為には必要な防潮堤ですが、正直、閉塞感否めません。

「不思議アート」は、平面に描かれた絵が人間の目の錯覚を利用して、壁を突き抜けて空を飛ぶウミネコや、イルカが水中から顔を出しているものなど計17点が防潮堤600mにわたって展示されています。

この展示は来年1月末頃までの予定で、その後は剥がされてしまうのだそうです。その前に一度訪れてみてはいかがでしょうか。



ベ-ースからのお知らせ
●被災地見学を予定しておられる皆さまへ
●カリタスみちのく〜つないだ10年、つながるこれから〜
●カリタス絵手紙の輪
●被災地見学のご案内
QRコード: カリタス大船渡ベース

大船渡市の中心地の様子 (2023/10/11 撮影)
震災から12年7ヶ月...
大船渡のシンボルであるセメント工場の煙突
おおふなぼーと (大船渡市防災観光交流センター)
災害公営住宅
夢海(ゆめみ)公園
キヤッセン 大船渡
港交番

ボランティア登録者数
男性708人
女性1391人
⇒合計2099人
◆8月1日〜9月30日
ボランティア数
男性: 0名
女性: 0名

2023年8・9月の活動紹介
9月にカトリック東京神学院の方々が訪ねてくださり、被災地見学の前にお話しすることができました。
〈8月〉
●2日(水) 陶芸作品展覧会
●22日(火) 海の星幼稚園 ほしっこクラブ
●29日(火) 海の星幼稚園 ほしっこクラブ
〈9月〉
●8日(金) 元気度アップ教室
●13日(水) 個人依頼
●19日(火) 被災地見学
●20日(水) お月見飾り作り
●21日(木) 上山東アパートサロン 貝殻のストラップ作り
●26日(火) 海の星幼稚園 ほしっこクラブ
●27日(水) お月見飾り作り
〈毎週の活動〉
●水曜日...手芸サロン・買物送迎
●木曜日...カリタスマホ教室 またはスマホなんでも相談室
●土曜日...買物送迎 中学生のための英語学習会
〈その他の活動〉
●カリタス工房
●カリタス絵手紙の輪
●玄関先訪問
●ベース整備